



## 平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年11月8日

上場会社名 日本化成株式会社

コード番号 4007 URL <http://www.nkchemical.co.jp>

代表者 (役職名) 取締役社長

(氏名) 村田 光司

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長

(氏名) 関 信哉

TEL 03-5540-5861

四半期報告書提出予定日 平成28年11月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満四捨五入)

### 1. 平成29年3月期第2四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	14,564	△0.8	652	397.7	752	268.6	496	306.6
28年3月期第2四半期	14,686	△14.8	131	△78.7	204	△77.4	122	△79.1

(注) 包括利益 29年3月期第2四半期 507百万円 (231.4%) 28年3月期第2四半期 153百万円 (△76.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第2四半期	4.72	—
28年3月期第2四半期	1.16	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	32,075		13,362			41.7
28年3月期	32,723		13,275			40.6

(参考) 自己資本 29年3月期第2四半期 13,362百万円 28年3月期 13,275百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	0.00	—	4.00	4.00
29年3月期	—	0.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	4.00	4.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	34,500	5.0	1,120	0.7	1,390	△11.3	760	△15.1	7.23

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年3月期2Q	105,115,800 株	28年3月期	105,115,800 株
② 期末自己株式数	29年3月期2Q	37,239 株	28年3月期	36,679 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年3月期2Q	105,078,872 株	28年3月期2Q	105,079,797 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
(4) 追加情報 .....	4
3. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	11
(継続企業の前提に関する注記) .....	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	11
(セグメント情報等) .....	11

(説明資料) 平成29年3月期 第2四半期決算概要

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における日本経済は、雇用情勢の改善が継続し、生産活動に持ち直しの兆しが見られる一方、企業収益や個人消費については弱含みで推移する等、踊り場の状態となる中、中国をはじめとする新興国経済の減速等の影響も懸念されるなど、先行き不透明感を払拭しきれない状況が継続しました。

このような情勢の下、当社グループは、新中期経営計画「NKC-Plan 20」に掲げている「安定的収益構造の確立」に向け、拡販、合理化・効率化、技術開発の迅速化等、収益向上諸施策に取り組んでおります。

こうした中で、当社グループの当第2四半期連結累計期間の業績について、電子工業用高純度薬品及び紫外線硬化性樹脂の販売増等があったものの主要原料であるアンモニア及びメタノール国際市況下落の影響等により前年同期に比べ売上高は減収となりました。一方、損益については、合成石英粉、紫外線硬化性樹脂の需要が引き続き堅調に推移したことに加え、電子工業用高純度薬品及びディーゼル車脱硝用高品位尿素水 (AdBlue®) の拡販、エンジニアリング事業における大型案件の検収及びコスト削減努力の影響等、加えて、一部受取配当金の時期ずれの影響から前年同期に比べ増益となりました。

具体的には、当第2四半期連結累計期間の売上高は14,564百万円 (前年同期比0.8%減)、営業利益は652百万円 (前年同期比397.7%増)、経常利益は752百万円 (前年同期比268.6%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は496百万円 (前年同期比306.6%増) となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

## (無機化学品事業)

アンモニア系製品は、主要顧客向け販売の減少に加え、アンモニア国際市況が前年同期に比べ下落したこと等から、販売数量、売上高とも減少しました。合成石英粉は、半導体関連分野が堅調に推移し、販売数量、売上高とも増加しました。電子工業用高純度薬品及びディーゼル車脱硝用高品位尿素水 (AdBlue®) は、需要が堅調に推移したことに加え、拡販に注力した結果、販売数量、売上高とも増加しました。

その結果、全体の売上高は6,760百万円 (前年同期比13.3%減) となりました。

## (機能化学品・化成品事業)

紫外線硬化性樹脂は、需要が堅調に推移したこと等から、販売数量、売上高とも増加しました。脂肪酸アマイドは前年同期並みとなりましたが、アクリレートをはじめとするその他機能材は売上高が増加しました。TAIC® (ゴム、プラスチック架橋助剤) は、激しい市場競争が継続する中、主要顧客向けの販売が低調であったこと等から、販売数量、売上高とも減少しました。

メタノールは、前年同期はスポット需要があったことの影響及び国際市況が前年同期に比べ下落したことから販売数量、売上高とも減少しました。ホルマリン及び木材加工用接着剤は、販売数量は前年同期並みとなりましたが、メタノール国際市況の下落の影響により、売上高は減少しました。

その結果、全体の売上高は4,943百万円 (前年同期比8.9%減) となりました。

## (エンジニアリング事業)

前期からの大型繰越受注案件の検収及び一部工事の早期竣工・検収時期ずれの影響があったことから、売上高は2,127百万円 (前年同期比180.2%増) となりました。

## (貨物運送・荷役事業)

新規案件の獲得等により、売上高は590百万円 (前年同期比6.3%増) となりました。

## (その他)

有機溶剤等の蒸留・精製業について、主要顧客向け販売増等により、売上高は62百万円 (前年同期比3.3%増) となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産の残高は、前連結会計年度末に比し648百万円減少し、32,075百万円となりました。これは、主に現金及び預金並びに流動資産のその他等が増加したものの、売上債権等が減少したことによるものであります。

当第2四半期連結会計期間末における負債の残高は、前連結会計年度末に比し735百万円減少し、18,713百万円となりました。これは、主に流動負債のその他等が増加したものの、仕入債務等が減少したことによるものであります。

当第2四半期連結会計期間末における純資産の残高は、前連結会計年度末に比し87百万円増加し、13,362百万円となりました。これは、主に親会社株主に帰属する四半期純利益等の増加が、支払配当金による減少を上回ったことによるものであります。

この結果、自己資本比率は41.7%（前連結会計年度末は40.6%）となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループの当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する四半期純利益について、去る平成28年8月5日及び10月25日に「業績予想の修正に関するお知らせ」において発表しましたとおり、当初想定を上回る結果となりましたが、平成29年3月期の通期連結業績予想につきましては、一部製品の前倒し需要対応分の減販、当社事業の主要原料であるメタノール国際市況の急変動が及ぼす影響及びアンモニア系製品をはじめ各事業の関連需要先の動向等、慎重に見極めるべき諸要素がありますことから、現時点では平成28年5月13日に発表した内容から変更しておりません。

なお、今後の状況変化に伴い見直しが必要となった場合には、速やかに開示いたします。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
該当事項はありません。

(4) 追加情報

（繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用）

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日）を第1四半期連結会計期間から適用しております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,084	2,188
受取手形及び売掛金	9,650	7,396
商品及び製品	2,474	2,379
仕掛品	661	591
原材料及び貯蔵品	1,088	1,050
その他	868	1,695
貸倒引当金	△1	△1
流動資産合計	15,824	15,298
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,511	3,521
機械装置及び運搬具(純額)	2,028	2,136
土地	4,872	4,872
建設仮勘定	423	229
その他(純額)	424	430
有形固定資産合計	11,258	11,188
無形固定資産		
その他	78	64
無形固定資産合計	78	64
投資その他の資産		
その他	5,573	5,534
貸倒引当金	△10	△9
投資その他の資産合計	5,563	5,525
固定資産合計	16,899	16,777
資産合計	32,723	32,075

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,125	3,856
短期借入金	5,947	5,957
未払法人税等	36	87
賞与引当金	292	292
その他	1,774	2,222
流動負債合計	13,174	12,414
固定負債		
長期借入金	2,225	2,241
役員退職慰労引当金	73	76
退職給付に係る負債	3,875	3,852
その他	101	130
固定負債合計	6,274	6,299
負債合計	19,448	18,713
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,593	6,593
利益剰余金	6,800	6,876
自己株式	△7	△7
株主資本合計	13,386	13,462
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	32	33
退職給付に係る調整累計額	△143	△133
その他の包括利益累計額合計	△111	△100
純資産合計	13,275	13,362
負債純資産合計	32,723	32,075



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
売上高	14,686	14,564
売上原価	12,079	11,356
売上総利益	2,607	3,208
販売費及び一般管理費	※1 2,476	※1 2,556
営業利益	131	652
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	16	71
持分法による投資利益	0	—
受取賃貸料	57	57
その他	40	33
営業外収益合計	113	161
営業外費用		
支払利息	36	30
為替差損	1	16
持分法による投資損失	—	11
その他	3	4
営業外費用合計	40	61
経常利益	204	752
特別損失		
補助金返還損	—	※2 69
特別損失合計	—	69
税金等調整前四半期純利益	204	683
法人税、住民税及び事業税	34	122
法人税等調整額	48	65
法人税等合計	82	187
四半期純利益	122	496
親会社株主に帰属する四半期純利益	122	496

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)
四半期純利益	122	496
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	18	1
退職給付に係る調整額	12	10
持分法適用会社に対する持分相当額	1	0
その他の包括利益合計	31	11
四半期包括利益	153	507
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	153	507
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	204	683
減価償却費	419	472
補助金返還損	—	69
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△0	0
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△17	—
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	1	3
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△0	△1
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△40	△8
受取利息及び受取配当金	△16	△71
支払利息	36	30
持分法による投資損益 (△は益)	△0	11
固定資産除却損	2	1
売上債権の増減額 (△は増加)	2,832	2,254
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△1,045	203
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△254	62
仕入債務の増減額 (△は減少)	△459	△1,269
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△217	390
その他の固定負債の増減額 (△は減少)	—	23
その他	△20	2
小計	1,426	2,854
利息及び配当金の受取額	30	80
利息の支払額	△34	△30
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△257	△29
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,165	2,875
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△411	△366
有形固定資産の売却による収入	1	1
無形固定資産の取得による支出	△25	△0
投資有価証券の取得による支出	△0	△0
投資有価証券の売却による収入	2	—
短期貸付金の純増減額 (△は増加)	700	△999
長期前払費用の取得による支出	△12	△12
その他	△22	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	233	△1,376

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△2,980	50
長期借入れによる収入	2,040	40
長期借入金の返済による支出	△104	△64
自己株式の取得による支出	△1	△0
配当金の支払額	△419	△419
その他	—	△1
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,464	△394
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2	△1
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△68	1,104
現金及び現金同等物の期首残高	1,411	1,084
現金及び現金同等物の四半期末残高	※1 1,343	※1 2,188

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	無機化学 品事業	機能化学 品・化成 品事業	エンジニ アリング 事業	貨物運 送・荷役 事業	計				
売上高									
(1) 外部顧客への 売上高	7,798	5,428	759	555	14,540	60	14,600	86	14,686
(2) セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	37	15	16	68	170	238	△238	—
計	7,798	5,465	774	571	14,608	230	14,838	△152	14,686
セグメント利益 又は損失(△)	213	△42	△140	33	64	10	74	57	131

(注)1. 「その他」の区分は、有機溶剤等の蒸留・精製業であります。

## 2. セグメント利益又は損失(△)の調整額

	金額(百万円)
電気及び蒸気の販売に よる利益	4
その他の調整額※1	113
全社費用※2	△60
合計	57

※1. その他の調整額は、主に各報告セグメントに帰属しない全社資産に係るもの及び各報告セグメントに配分していない原価差額であります。

※2. 全社費用は、各報告セグメントに配賦した一般管理費の予定配賦額と実績発生額との差額及び報告セグメントに帰属しない一般管理費、研究開発費であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	無機化学 品事業	機能化学 品・化成 品事業	エンジニ アリング 事業	貨物運 送・荷役 事業	計				
売上高									
(1) 外部顧客への 売上高	6,760	4,943	2,127	590	14,420	62	14,482	82	14,564
(2) セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	28	20	14	62	155	217	△217	—
計	6,760	4,971	2,147	604	14,482	217	14,699	△135	14,564
セグメント利益	318	209	122	33	682	6	688	△36	652

(注)1. 「その他」の区分は、有機溶剤等の蒸留・精製業であります。

## 2. セグメント利益の調整額

	金額(百万円)
電気及び蒸気の販売に よる利益	2
その他の調整額※1	90
全社費用※2	△128
合計	△36

※1. その他の調整額は、主に各報告セグメントに帰属しない全社資産に係るもの及び各報告セグメントに配分していない原価差額であります。

※2. 全社費用は、各報告セグメントに配賦した一般管理費の予定配賦額と実績発生額との差額及び報告セグメントに帰属しない一般管理費、研究開発費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

平成29年3月期 第2四半期決算概要

1. 連結業績

[単位:百万円]

	当第2四半期 連結累計期間 (H28.4.1- H28.9.30)	前年同四半期 連結累計期間 (H27.4.1- H27.9.30)	増減	
			金額	率
売上高	14,564	14,686	△ 122	-0.8%
営業利益	652	131	521	397.7%
金融収支	41	△ 20	61	※1
その他営業外	70	93	△ 23	※2
持分法損益	△ 11	0	△ 11	※3
経常利益	752	204	548	268.6%
特別損益	△ 69	-	△ 69	※4
税引前利益	683	204	479	234.8%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	496	122	374	306.6%
1株当り四半期純利益	4円72銭	1円16銭		

※1 金融収支の主な内訳

	H28/9	H27/9	差
受取配当金	71	16	+55

※2 その他営業外差異の主な内訳

	H28/9	H27/9	差
為替差損益	△16	△1	△15

※3 小名浜海陸運送

	H28/9	H27/9	差
	△11	0	△11

※4 特別損益の主な内訳

	当第2四半期	前年同四半期
補助金返還損 (注)	△ 69	-
計	△ 69	-

(注) 東日本大震災時に設備復旧のため受領した補助金の一部返還

①セグメント別売上高 (連結)

	当第2四半期 連結累計期間 (H28.4.1- H28.9.30)	前年同四半期 連結累計期間 (H27.4.1- H27.9.30)	増減	
無機化学品	6,760	7,798	△ 1,038	合成石英粉、EL薬品、ディーゼル車脱硝用高品位尿素水(AdBlue®)は需要が堅調に推移したこと等から増収となるも、アノード系製品は国際市況が下落したことによる影響及び主要顧客向け販売減少等により、対前年同期比減収
機能化学品・化成品	4,943	5,428	△ 485	紫外線硬化性樹脂は需要が堅調に推移したこと等から増収となるも、MAFは国際市況が下落したことによる影響及びTA10(ゴム、プラスチック架橋補助剤)は主要顧客向け販売が減少したこと等から、対前年同期比減収
エンジニアリング	2,127	759	1,368	前期からの大型繰越受注案件の検収があったことに加え、一部工事の早期竣工・検収時期ずれがあったこと等から、対前年同期比増収
貨物運送・荷役	590	555	35	新規案件の獲得等により、対前年同期比増収
その他	62	60	2	有機溶剤等の蒸留・精製業については主要顧客向け販売増等により、対前年同期比微増
調整額	82	86	△ 4	上記セグメントに属さない電気・蒸気等のコホート部門の売上高を調整額として表示
計	14,564	14,686	△ 122	

②セグメント別営業利益 (連結)

	当第2四半期 連結累計期間 (H28.4.1- H28.9.30)	前年同四半期 連結累計期間 (H27.4.1- H27.9.30)	増減	
無機化学品	318	213	105	合成石英粉、EL薬品、ディーゼル車脱硝用高品位尿素水(AdBlue®)は需要が堅調に推移し、対前年同期比増益
機能化学品・化成品	209	△ 42	251	紫外線硬化性樹脂の需要が堅調に推移したこと等により、対前年同期比増益
エンジニアリング	122	△ 140	262	前期からの大型繰越受注案件の検収があったことに加え、一部工事の早期竣工・検収時期ずれがあったこと等から、対前年同期比増益
貨物運送・荷役	33	33	-	新規案件の獲得等があったものの、車両の更新等による経費増により、前年同期並み
その他	6	10	△ 4	有機溶剤等の蒸留・精製業については設備の更新による経費増等により、対前年同期比減益
調整額	△ 36	57	△ 93	原価差額及び上記セグメントに属さない電気・蒸気等のコホート部門の損益を調整額として表示
計	652	131	521	

2. 連結比較貸借対照表

	当第2四半期 連結会計期間末 (H28.9.30)	前連結会計 年度末 (H28.3.31)	増減		当第2四半期 連結会計期間末 (H28.9.30)	前連結会計 年度末 (H28.3.31)	増減
現預金	2,188	1,084	1,104	有利子負債	8,198	8,172	26
売上債権	7,396	9,650	△ 2,254	仕入債務	3,856	5,125	△ 1,269
たな卸資産	4,020	4,223	△ 203	その他負債 ※2	6,659	6,151	508
固定資産(有形・無形)	11,252	11,336	△ 84	株主資本	13,462	13,386	76
投融資等	5,525	5,563	△ 38	その他の包括利益累計額	△ 100	△ 111	11
その他資産 ※1	1,694	867	827				
資産合計	32,075	32,723	△ 648	負債・純資産合計	32,075	32,723	△ 648

(注) 自己資本=純資産-非支配株主持分  
D/Eレオ=有利子負債/自己資本

自己資本	13,362	13,275	87
自己資本比率	41.7%	40.6%	1.1%
有利子負債	8,198	8,172	26
D/Eレオ	0.61	0.62	△ 0.01

※1 増減内訳: 短期貸付金+999 他

※2 増減内訳: 前受金+553 他

### 3. 連結キャッシュ・フロー

(参考)

	当第2四半期 連結累計期間 (H28.4.1- H28.9.30)	前年同四半期 連結累計期間 (H27.4.1- H27.9.30)
営業活動によるCF	2,875	1,165
投資活動によるCF	△1,376	233
フリーキャッシュ・フロー	1,499	1,398
財務活動によるCF	△394	△1,464
現金及び現金同等物に 係る換算差額	△1	△2
現金及び現金同等物の 増減	1,104	△68

税前利益 683、減価償却費 472、売上債権の減少額 2,254、その他流動負債の増加額 390、仕入債務の減少額△1,269、たな卸資産の減少額等 345

短期貸付金の増加額 △999、設備投資等 △377

配当金の支払額等△394

### 4. 連結通期業績予想

(平成28年5月13日発表)

	29年3月期 通期	28年3月期 実績	増減	
			金額	率
売上高	34,500	32,871	1,629	5.0%
営業利益	1,120	1,112	8	0.7%
経常利益	1,390	1,567	△177	-11.3%
特別損益	△300	△194	△106	
税引前利益	1,090	1,373	△283	-20.6%
親会社株主に帰属する 当期純利益	760	895	△135	-15.1%
1株当たり当期純利益	7円23銭	8円52銭		
1株当たり配当金(期末のみ)	4円	4円		

#### ①セグメント別売上高

		29年3月期 通期	28年3月期 実績	増減	
報告 セグ メン ト	無機化学品	16,600	15,738	862	アモニア系製品の主要顧客向け販売回復、ディーゼル車脱硝用高品位尿素水(AdBlue®)等の拡販努力により増収
	機能化学品・化成品	11,500	11,120	380	糊マリン・木材加工用接着剤の合板メーカー減産緩和による需要回復等により増収
	エンジニアリング	4,900	4,560	340	工事受注回復等により増収
	貨物運送・荷役	1,210	1,163	47	主要顧客向け運送量増等により増収
	その他	120	122	△2	有機溶剤等の蒸留・精製業について、主要顧客向け販売の減少等により減収
調整額	170	168	2	上記セグメントに属さないコーポレート部門の売上高を調整額として表示	
計	34,500	32,871	1,629		

#### ②セグメント別営業利益

		29年3月期 通期	28年3月期 実績	増減	
報告 セグ メン ト	無機化学品	510	392	118	アモニア系製品の主要顧客向け販売回復、ディーゼル車脱硝用高品位尿素水(AdBlue®)等の拡販努力により増益
	機能化学品・化成品	390	381	9	糊マリン・木材加工用接着剤の合板メーカー減産緩和による需要回復あるも、機能化学品関連の競争環境激化等により微増
	エンジニアリング	160	149	11	工事受注努力等により微増
	貨物運送・荷役	50	59	△9	車両の更新等による経費増により微減
	その他	10	19	△9	有機溶剤等の蒸留・精製業について、主要顧客向け販売の減少等により減益
調整額	0	112	△112	上記セグメントに属さないコーポレート部門の損益を調整額として表示	
計	1,120	1,112	8		